

11月19日(土)

スポンサードシンポジウム

9:00~11:15【大ホール】

「抗血栓症薬による消化管障害の基礎と臨床」

司会：桑山 肇 (ニューヨーク州立大学)

佐藤 宏 (京都薬科大学 薬物治療学)

共催：大塚製薬株式会社

SS-1 長期低用量アスピリン服用者における出血性消化管病変の検討

○三宅 一昌、植木 信江、楠 正典、藤森 俊二、坂本 長逸

日本医科大学 消化器内科

SS-2 抗血小板療法継続中に発症した消化性潰瘍出血症例の臨床的検討

○笹井 貴子、菅家 一成、平石 秀幸

獨協医科大学 内科学 (消化器)

SS-3 経皮的冠動脈形成術後の消化管出血に関する検討

○灘谷 祐二、渡辺 俊雄、谷川 徹也、大谷 恒史、町田 浩久、岡崎 博俊、山上 博一、
渡辺 憲治、富永 和作、藤原 靖弘、荒川 哲男

大阪市立大学 医学部 消化器内科

SS-4 上部消化管内視鏡被験者における抗血栓薬の服薬状況と、内視鏡による消化管粘膜障害の検出率

○池澤 和人¹、中原 朗¹、兵頭 一之介²

筑波記念病院 消化器内科、²筑波大学臨床医学系 消化器内科

SS-5 低用量アスピリン投与による消化器症状の出現とレバミピドによる予防効果

○水上 一弘、村上 和成

大分大学医学部消化器内科

SS-6 低用量アスピリン起因性胃・小腸粘膜傷害に対するレバミピドの予防効果：
ボランティアを対象とした臨床試験より

○小嶋 融一¹、梅垣 英次¹、依田 有紀子¹、能田 貞治¹、倉本 貴典²、竹内 利寿¹、
井上 拓也¹、時岡 聡¹、樋口 和秀¹

¹大阪医科大学 第二内科、²阪和住吉総合病院

SS-7 上部消化管傷害における低用量アスピリンとTFFの関連

○河合 隆¹、福澤 麻理¹、杉本 弥子¹、山岸 哲也¹、八木 健二²、片岡 幹統²、森安 史典²

¹東京医科大学病院内視鏡センター、²東京医科大学病院 消化器内科

- SS-8** 薬剤性胃粘膜傷害における胃粘液分泌の役割
 - 低用量アスピリン服用による胃粘液及び酸分泌の動態における検討 -
 ○市川 尊文¹、石原 和彦²、飯島 克則³、荒 誠之³、岩井 渉³、岩淵 利光³、小池 智幸³、阿部 靖彦³、下瀬川 徹³
¹北里大学 大学院医療系研究科 生体制御生化学、
²北里大学 大学院医療系研究科 生体制御生化学、³東北大学病院 消化器内科
- SS-9** アスピリン起因性小腸粘膜傷害における上皮細胞透過性と酸化ストレスとの関係について
 ○福居 顕文、内藤 裕二、半田 修、吉田 直久、鎌田 和浩、堅田 和弘、内山 和彦、石川 剛、高木 智久、小西 英幸、八木 信明、古倉 聡、吉川 敏一
 京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器内科学
- SS-10** アスピリンとクロピドグレルの併用による出血性胃損傷モデルの作製
 - レバミピドの効果 -
 ○高山 真一、天ヶ瀬 紀久子、加藤 伸一、竹内 孝治
 京都薬科大学 病態薬科学系 薬物治療学分野
- SS-11** 腸溶性アスピリン製剤によるネコ消化管粘膜損傷について
 ○佐藤 宏、天ヶ瀬 紀久子、竹内 孝治
 京都薬科大学 病態薬科学系 薬物治療学分野

特別発言 福富 久之（茨城県メディカルセンター）

一般演題 VI 「腸管の炎症」

11：20～11：44【大ホール】

司会：梅垣 英次（大阪医科大学 第二内科）
 鈴木 英雄（筑波大学 消化器内科）

- OS-22** 大腸上皮および単球細胞におけるamphiregulin-regulating protein (ARP) 36によるTNF α 放出制御
 ○塚本 宏延、谷田 諭、尾関 啓司、平田 慶和、片岡 洋望、城 卓志
 名古屋市立大学大学院 医学研究科 消化器・代謝内科
- OS-23** 5-フルオロウラシル誘起性腸炎に対する5-HT₃受容体拮抗薬の効果
 ○安田 仁、加藤 伸一、天ヶ瀬 紀久子、竹内 孝治
 京都薬科大学 病態薬科学系 薬物治療学分野
- OS-24** レドックス能を有するナノ粒子による潰瘍性大腸炎治療法の開発
 ○長崎 幸夫^{1,2,3}、Ving Binh Long¹、吉富 徹¹、松井 裕史²
¹筑波大学 大学院 数理物質科学研究科、²筑波大学 大学院人間総合科学研究科、
³物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクトゥクス研究拠点 サテライトラボ

一般演題 VII 「大腸がんの予防」

11:44~12:08【大ホール】

司会：佐々木誠人(愛知医科大学 消化器内科)

谷川 徹也(大阪市立大学大学院 消化器内科学)

OS-25 大腸aberrant crypt foci生成におけるlow-density lipoprotein 受容体の寄与

○中野 勝也^{1,2}、一二三 佳恵^{1,2}、志村 美聖^{1,2}、谷中 昭典²、武藤 倫弘¹

¹国立がん研究センター 研究所 がん予防研究分野、²東京理科大学 薬学部 臨床薬理学

OS-26 Losartan及びmetforminの併用投与によるMinマウス腸ポリープ生成抑制効果の検討

○一二三 佳恵^{1,2}、中野 勝也^{1,2}、志村 美聖^{1,2}、谷中 昭典²、武藤 倫弘¹

¹国立がん研究センター 研究所 がん予防研究分野、²東京理科大学 薬学部 臨床薬理学

OS-27 食品に含まれる脂肪酸が大腸腫瘍発生に及ぼす影響

○住山 里沙、福本 敦、谷中 昭典

東京理科大学 薬学部 臨床薬理学

ランチョンセミナー II

12:20~13:20【中会議室 201】

「大腸疾患研究における基礎と臨床のコラボレーション」

司会：兵頭一之介(筑波大学大学院 人間総合科学研究科消化器内科)

共催：東京理科大学総合研究機構トランスレーショナルリサーチ部門

LS-3 アディポサイトカインを標的とした大腸がん予防方法

○武藤 倫弘

国立がん研究センター研究所・がん予防研究分野

LS-4 炎症性腸疾患 - 生物学的製剤の功罪 -

○鈴木 英雄

筑波大学 消化器内科

特別講演 II

13:30~14:30【大ホール】

司会：谷中 昭典(東京理科大学 薬学部臨床薬理学)

共催：東京理科大学総合研究機構トランスレーショナルリサーチ部門

SL-2 タンパク質相互作用を標的とした*in silico*創薬方法論の実践

○田沼 靖一

東京理科大学薬学部生化学教室 ゲノム創薬研究センター

ワークショップ

14:40～16:25【大ホール】

「消化管領域におけるDrug Repositioning研究」

司会：水島 徹 (慶應義塾大学 薬学部分析化学講座)

渡辺 俊雄 (大阪市立大学大学院 医学研究科)

共催：東京理科大学総合研究機構トランスレーショナルリサーチ部門

WS-1 ドラッグリプロファイリングの現状と展望

○水島 徹

慶應義塾大学薬学部

WS-2 過敏性腸症候群治療薬ラモセトロン塩酸塩の創製

○宮田 桂司¹、平田 拓也²、毛戸 祥博²

¹アステラス製薬 研究本部 専任理事、²アステラス製薬 研究本部 開発薬理研究所

WS-3 非ステロイド性抗炎症薬誘起小腸傷害におけるセロトニンの役割： 各種セロトニン5-HT受容体拮抗薬の効果

○加藤 伸一¹、安田 仁¹、松本 健次郎²、天ヶ瀬 紀久子¹、堀江 俊治²、竹内 孝治¹

¹京都薬科大学 病態薬科学系 薬物治療学分野、²城西国際大学 薬学部 薬理学講座

WS-4 レバミピドによるインドメサシン誘発小腸傷害の抑制作用と抗菌ペプチドを介した 小腸内フローラへの影響

○谷川 徹也、大谷 恒史、渡辺 俊雄、灘谷 祐二、町田 浩久、岡崎 博俊、山上 博一、
渡辺 憲治、富永 和作、藤原 靖弘、荒川 哲男

大阪市立大学大学院 医学研究科 消化器内科学

WS-5 2. Rebamipideの上皮細胞再上皮化作用による大腸潰瘍治癒促進機転

○内山 和彦、内藤 裕二、高木 智久、鈴木 隆裕、堅田 和弘、鎌田 和浩、半田 修、
石川 剛、八木 信明、古倉 聡、市川 寛、吉川 敏一

京都府立医科大学 医学部 消化器内科

WS-6 NSAID起因性小腸粘膜障害に対するDPP4選択阻害剤の効果

○井上 拓也^{1,2}、秋葉 保忠¹、梅垣 英次²、樋口 和秀²、Kaunitz Jonathan¹

¹West LA VA Medical Center, UCLA、²大阪医科大学 第二内科

WS-7 スルフォラファンに関するDrug Repositioning 研究

～食品成分による*H. pylori*感染制御を目指した基礎的検討～

○福本 敦、谷中 昭典

東京理科大学 薬学部 臨床薬理学

特別発言 岡部 進 (京都薬科大学)

表彰式・閉会の辞

16:25～16:45【大ホール】